

# 東京の橋

パネル展

入場無料

同時開催：土木コレクション2015

— 明治\*大正の橋 —

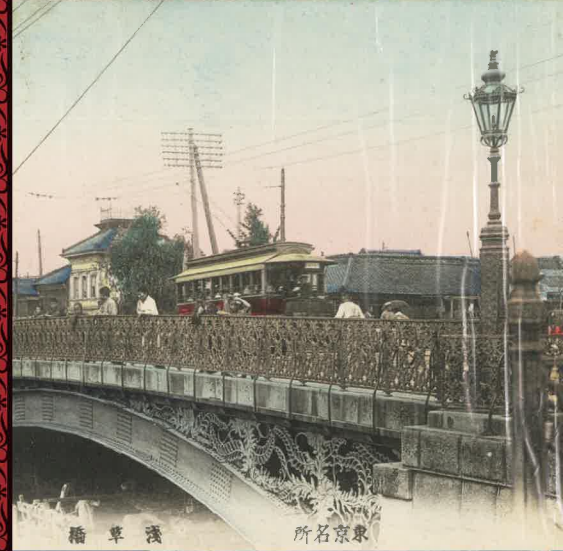
平成27年  
11/19木 - 11/22日

新宿駅西口広場イベントコーナー

開催時間 8:00-21:00

(但し、初日は13時から、最終日は17時まで)

東京都建設局



# 帝都の橋をお楽しみ下さい

5回目を迎えた「東京の橋パネル展」。今年は、「明治・大正の橋」に焦点を当て、展示を行います。

明治初年に架設された隅田川の西洋式木橋や都心の石造アーチ橋群を経て、鉄橋の時代へ。明治、大正時代に架設されたこれらの鉄橋は、アール・ヌーヴォーやネオバロックなどの装飾で彩られた美しい橋でした。文明開化から大正ロマンまで、帝都の橋をお楽しみ下さい。



浅草橋（明治7年）

## 石造アーチ橋

明治初年、新政府は文明開化の象徴として、長崎の眼鏡橋のような石造アーチ橋を、都心の川や運河に架設しました。その数は、明治6年に神田川の万世橋を架設したのを皮切りに、明治13年の呉服橋まで、計13橋にのぼりました。今回の展示では、浅草橋の錦絵を初め、この13橋の写真や図面の写しを展示します。

## 隅田川の鉄橋

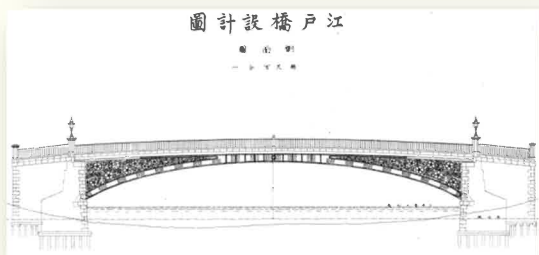
明治18年に隅田川は大水害に見舞われ、吾妻橋と千住大橋が流失しました。それを機に、明治20年に吾妻橋は隅田川で初の鉄橋に架け替えられました。明治26年には厩橋、明治30年には永代橋、明治37年には両国橋、明治45年には新大橋、と相次いで木橋から鉄橋に架け替えられました。美しい装飾で彩られたこれらの鉄橋や設計者を紹介します。また、この明治時代の新大橋と両国橋の実物の橋名板などを展示します。



吾妻橋（明治20年）

## 装飾橋梁

明治後半から大正時代にかけて東京では、鋳物製の飾りで彩られた美しい橋が多く架設されました。これらを「装飾橋梁」と呼びます。今回の展示ではこれらの橋の紹介や、設計図面の展示を行います。



江戸橋設計図面（明治34年）

## 今回のみどころポイント！

この橋名板は、明治45年に架設された新大橋に設置されていました。昭和51年に橋が架け替えられた後、中央区で保管されていました。



新大橋橋名板

お問い合わせ  
建設局道路管理部  
☎ 03-5320-5295

東京の橋 パネル

🔍 検索